

地域のことは、まずは自分たちで

高齢者見守り隊

小峯地区では平成3年からシルバーヘルパーによる友愛訪問活動が開始しました。地区内の高齢者世帯を訪問し声かけ活動をしています。また、高齢者宅の周りの住民と情報交換をしながら協力してもらいます。3年前、ひとり暮らしの高齢者が自宅で亡くなれましたが、近所の人からの通報で早期に発見することができました。また、ちょうど訪問したときに体調が急変し具合が悪くなった高齢者もいました。月2回の活動ですが、民生委員、高齢者相談員、シルバーヘルパーが協力あって高齢者の安心安全を見守っています。



訪問先の高齢者の様子を確認し合うシルバーヘルパーのみなさんと高齢者相談員

会話が楽しくてついつい長話

高齢者見守り隊のみなさんの定期訪問を、いつも楽しみに待っています。

ひとり暮らしが長いので、みなさんとの会話の機会をいただいていると思います。

おしゃべりが大好きなので、ついつい長話になりますが、唯一の楽しみと思って感謝しています。



いまむら
今村 シゲ子 さん
(小峯)



シルバーヘルパーと高齢者相談員が一緒に行う月2回の高齢者見守り活動の様子。高齢者宅を巡回し生活状態を観察します。



地域の安心安全を見守る

子ども見守り隊

町老人クラブ連合会の取り組みに賛同し、白梅友の会の有志が集まって始まった子ども見守り隊の活動は、平成20年から今年で7年目になりました。毎週木曜日の午後3時から、13人の隊員が2班に分かれて活動しています。

それぞれの家から集合場所の広安愛児園までを防犯パトロールしながら集まり、スクールバスが到着すると、下校する子どもたちが安全に帰宅できるように、交通安全指導をおこなっています。このような地域に密着した活動に取り組むことで、みなさんの安心安全を見守っています。



子ども見守り隊のみなさん